

令和元年度 三陸・大船渡東京タワーさんまつりで周知活動を行いました。(2019年度)

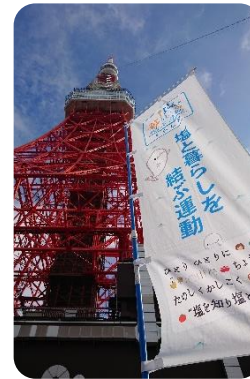
塩と暮らしを結ぶ運動では、2019年9月23日（月・祝）、東京都港区の東京タワー屋外特設会場で開催された「第11回 三陸・大船渡東京タワーさんまつり」（主催：三陸・大船渡東京タワーさんまつり実行委員会（塩と暮らしを結ぶ運動協力団体））において、一昨年度・昨年度に引き続き、周知活動を行いました。

今年で第11回目となる本イベントでは、従来同様、先着3,333名にさんまの炭火焼きが無償で振舞われるほか、大船渡の特産品の販売や、多数のステージイベントなども実施されました。さんまの炭火焼き用の塩は、今回も、株式会社東日本ソルト（全国塩元売協会会員）・大船渡営業所が提供しています。

塩と暮らしを結ぶ運動では、来場者の皆様に、運動の冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』や、ウチワ、クリアファイル、また現在実施中の「くらしおクイズキャンペーン2019」のチラシを配布しました。また、ポスターを掲示して、熱中症対策もPRしました。

今年は、さんまの不漁が心配される中、無事大船渡で水揚げされたばかりのさんまが振舞われるとあって、例年同様に多くの方にお越しいただきました。台風が接近する中、雨は降りませんでしたが、強い風が吹く中、イベント全体では約1万1千名の来場がありました。

当日は、強風の中、冊子などが飛ばされないよう苦労しましたが、塩と暮らしを結ぶ運動では、約1,000名の方に、『塩と暮らしのあれこれBOOK』などをお配りし、さんまの塩焼きや熱中症対策に欠かせないのはもちろんのこと、それだけではない塩と暮らしの関わりについて、お伝えすることができました。



第10回 三陸・大船渡東京タワーさんままつりで周知活動を行いました。（2018年度）

塩と暮らしを結ぶ運動では、2018年9月23日（日・祝）、東京都港区の東京タワー屋外特設会場で開催された「第10回 三陸・大船渡東京タワーさんままつり」で、昨年度に引き続き、周知活動を行いました。

本イベントでは、先着3,333名に、さんまの炭火焼きが無償で振舞われます。そのほか、「さんまバーガー」など大船渡の特産品の販売や、多数のステージイベントなども実施されます。

イベント主催者の「三陸・大船渡東京タワーさんままつり実行委員会」は、この度、塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会の協力団体となりました。また、本イベントには、株式会社東日本ソルト（全国塩元売協会会員）・大船渡営業所が、「さんまに良く合う塩」を提供しています。そのほか、伯方塩業株式会社（日本特殊製法塩協会会員）の協力も得て、周知活動を行いました。

今回も、さんまの炭火焼きコーナーにポスターを掲示し、運動や熱中症対策をPRしました。そして、「綾里大権現」も見守る中、来場者の皆様に、運動の冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』や、ウチワ、クリアファイル、また塩飴を配布しました。

今年は天候にも恵まれ、イベント全体では約1万7千人と過去最高の来場があり、焼き上がったさんまを求める長蛇の列ができました。その中で、約1,000名の方に、『塩と暮らしのあれこれBOOK』などをお配りし、さんまの塩焼きにはもちろん欠かせませんが、それだけではない塩と暮らしの関わりについて、お伝えしました。



第9回 三陸・大船渡東京タワーさんまつりで周知活動を行いました。(2017年度)

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2017年9月23日（土・祝）に東京都港区芝公園の東京タワー屋外特設会場で開催された「第9回 三陸・大船渡東京タワーさんまつり」（主催：三陸・大船渡東京タワーさんまつり実行委員会）で周知活動を行いました。

秋の味覚といえば「さんま」ですが、このまつりは、岩手県大船渡市から直送された新鮮なさんまを、大船渡から上京したスタッフが熟練の技で炭火焼して無償で振る舞うという、大船渡港に水揚げされたさんまのPRと、東日本大震災で甚大な被害を受けた同地の復興支援を兼ねたイベントです。

このイベントに対し、大船渡に営業所を持つ株式会社東日本ソルト（全国塩元売協会会員）が、「さんまに良く合う塩」を提供しています。

今回は、これに加え、会場に塩と暮らしを結ぶ運動のポスターを掲示し、また来場者の方に、運動のリーフレットやマグネット、ウチワを配布しました。

当日は、午前中の雨天にもかかわらず、イベントには1万2千名以上の来場者があり、大変なにぎわいでした。さんまを焼く煙が立ち込める中、約200名の方に、運動のリーフレットなどを配布し、さんまの塩焼きにも欠かせない「塩」について、改めて知っていただくことができました。

